し当極 し他の

進所推工

しで進事

てはを書

ま、望類

いHむ縮

りP声減

ま等がの

すで多取

∘そく組

の上に

取がつ

組つい

をてて

広おは

報り、

丶積

、事的尚た六方★★回・⑥

、下業業会

率館協協に

直河会会は

見務二十

が所十八

かか名名

な川

意事

わら

さは

れ所

ま長



筑西労働基準監督署野口署長の講話



茨城県暴力追放推進センター伊藤氏の講話

(5)(4)

目会工 指の事各 し内が施 て容本エ くを格業 だ活化者 さかしに いしてお

。ていか 、きれ 無まま 事すし 故のて ででは I ` ` 事ここ 完のれ 了協か

を議ら

ましる策藤 デ低こふっ署 た しな態」氏続ルくとせ労長ま。次 たい度にかい」さはげ働よず に ∘ ∟ でつらてをせ出る災り初

な接い「、用る来の害、め どすて暴茨いべなかは労に 注る、力城てきい」何働 意こ講団県 丶でがと故災筑 すと話よ暴説あ、題起害西 べ」をりカ明る災しきの労 き、しの追をと害、る防働 事って不放しっが災の止基 項曖頂当推てス発害か対準 の昧き要進頂イ生を、策監 説な、求セきスすゼどに督 明答「防ンまチるロうつ署 がえ毅止タし│確にしいの あ方然対したズ率すたて野 りをた 伊 ∘モをるら ` **□**

続的と見方川 そ日

きとに交が事これへ平 設

二しよ換抱務のぞ水成

目開良行ると見意茨十

開しな、問注換交県年

四す取、設あし設し

◦協び

会十

とニ

月るり率業るた業及

にこ組直協下

引とみな会館

回てりをえ所意れ、二

の催好い諸受交見城・

お 人 の 方 Þ か ら 講 話 を 頂



○名々栃茨の意情結ワ合組下総平つ平発議 がが木城意見報果ン理み館会成い成注内 にデ的に河に 出出県県見交共 者容▮ つ│なつ川つ十 席席建建交換有 いレ維い事いー し、設設換 てス持て務て年 年 ス ら ポエ 所 度 度 前の ン事 エ エ 期報 事 事 スの 入告 1= 安 意実 書 全 つ 見施 類 札等 縮 対 交に 手 1.1 減 策 換つ 続 協 会い の 結 取 議 果 実て

会

に



栃木県建設業協会との意見交換会 き目こ意双河

催て工諸題者会換及十 茨城県建設業協会との意見交換とお事課のでは会び一 なり品題解あ、を栃月 り、質の決る発開木九 ま今を改に地注催県日 し回確善向元者しの〜 たは保にけ建でま建月

> すまご さ行 ま洪 いも尚 ∘す不沿り水非 ◦多 くエ

な事 り期 理お様 ま間 解かや す中 、け河 御す川 のは で、 協る利 `I カこ用 をと者

注用

小貝川護岸災害復旧工事 (筑西市下川中子地先)

が便川まか出 、等のしら水 ごを皆た地期 ∘域⌒ を十 וֹת 守一 る月 為「 `翌 4 護五 ま 岸月 御もの $\mathtt{I} \sim$

意車 願あ皆 し両 いる様 て等 致かに くの し存は だ通 まじ

事に 等入 がり 始

れば、強い電流を一瞬流して心臓にショックを与えること(電気ショック)で、心臓の状

工事安全施工業者表彰 表彰者による発表 (株)小薬建設 平石様(監理技術者)

※AEDは、Automated External Defibrillatorの頭文字をとったもので、日本語訳は自 動体外式除細動器といいます。小型の器械で、体外(裸の胸の上)に貼った電極のつ いたパッドから自動的に心臓の状態を判断します。もし心室細動という不整脈(心臓 が細かくブルブルふるえていて、血液を全身に送ることができない状態)を起こしてい

態を正常に戻す機能を持っています。 最近、駅や飛行場、劇場などで、AED(エー・イー・ディと読みます)と書かれた器械 を見かけることはありませんか。このAEDは、心臓マヒを起こして倒れた人を、そこに

いる人たちがその場で使って倒れた人の命を救うことができる器械なのです。 財団法人 日本心臓財団ホームページより引用

等事安内局平い平まあ対当施下年の係国 の故全容管成て成ずり策日し館十発わ土 最ま協はま河ー生る交 十初し議、し川月を労通 ーにた会発た事ニ未働省 、。の注。務十然災下 所日に害館 エ〜防、河 事金止交川 安シす通事 全にる事務 対った故所 策平め及は 協成、び、 議二平犯工 会十成罪事 _ 一二行施 を年十為エ 施五の エエ中続

★ が全 実度一等に

メ者

バ受

|注

百者

二か

十ら

八な

名る

のエ

参事

加安

及

のが

し中か

たのら

。エは

の質

全

対意

策見

へ等

上 菅戸〜畑 〜佐. 三二上 原築株護株山株川株へ 設工小災小岸野流浜〜 事薬害薬災澤護 設旧設復業災 護 岸 旧 害 工 復 エ 旧 I

説がに

明起工

をき事

行たを

い場行

ま合う

しのこ

たデと

。メに

リよ

ッる

トメ

下龍河川事

重量三者の負債及び第三者原因等に対する 損傷事故の防止

適切な交通誘導 験幕作業詩の飛石等の飛散防止対策

建設機械の稼働に関連した人身事故の防止

適切な施工機械の選定及び使用 有資格者の配置状況の確認

▼ 足場・法国等からの墜落事故の防止 ・作業員に対する作業方法及び順序の別

下館河川事務所からの説明

き

ま

で十

生年

し度

た上

工半

事期

事の

故関

発東

生地

状方

況整

、備

年

度下

の館

重河

点川

的事

安務

全所

対か

策ら

に

つ

発

業事かい 者にらて 表つ、、 I 彰い特平 してに成 を「安二 執平全十 り成対年 I 行二策度 業 い十にに 者 ま年優完 し度れ了 たエたし ◦事左た 安記工

全の事

説**除**く

て現メまをくに頂い受

頂在ンし使聞はきて賞

け施バたつく、ま、さ

まエー ∘た、従し当れ

練Αの

をE安

実D全

施へ対

し自策

た動だ

事体け

例外で

の式な

訓※来た該た

∘工各

事施

でエ

工業

夫者

さよ

れり

点安

た

を全

HPアドレス





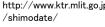


Ph 行 参な協明細 、発発対こ 考さ議が動最表表策の とれ会あ器近のしに後 し、のり~よ中てつ、

き め 閳 発 行 国土交通省 下館河川事務所 きぬ·こかい情報発信局

茨城県筑西市二木成1753 Tel 0296-25-2161

http://www.ktr.mlit.go.jp







氏家管内(11月12日実施)

認、③①パ員間十 指事通安口工管月 導事安対 事内十

を

を故全策ル業の 行を対 で者エ日 い防策 はさ事へ ま止 、ん現木 しす42エで場 たる物労事行のら 。た品務現い安二 め管対場ま全十 の理策内しパ六 安対 のたト日

確等

、工交保トと

 $\circ \Box \frown$ 全策 体 一木 ルし ഗ をの

まエ



故山

対工

9 **]**||

いス

守

h



生徒たちの力作を、ぜひ、ご

覧になってください。

護下し昭た ま怒か約子日 表館、和活同し橋る二高へ平 彰河平五動校た下国百等水成 を川成十をは。の道人学〜ニ ゴ百が校、十 川海 受事四九 、、 、の宇一 **で星** け務・年二地 て所十か十域 拾十鬼一都年 二ら五に い三怒・宮十 を号川二海一 ま河年実年根 行新に年星月 活高 す川に施前ざ ∘愛は のし い鬼架生女四 動等

こりの新なうらえめい**建部**後

でき板に板て看りたを㈱全ら

、わ、河をて、わ(株)議

、河り三川設、杭り**菊会地**

○河川ま基愛置慣のな**地の域**

川をし、護しれ長が組三貢

美利た鬼のまなさら**〜社献**

河が

川あ

敷ふ

緑れ

地る

公個

◦怒気しいを`のへと

川持た作のボ方㈱し

○業こ丨々柳て

とりをら工加

まで杭、務し

ど切に道店た

いりネ具、伊

た看しもたし方設安か

校

の

生

なそジの松讃 しデデ 行体体アれレ こに的こがろ止使**本支**午たザア生っ験が**グ**たンこし砂十市平

をしはま

えい三

、な班

河がに

川ら分

愛、れ

護協、

看力そ

板しれ

をてぞ

作、れ

成標が

し語ア

まやイ

考合

呈体務 てをり を両橋が学六 しと所ま、環、同行岸の、校日平 てしよた実境河校いに約道の〜成 いてり、施教川はまおー祖児金二 ま、、今し育敷、しい㎞土童シ十 校立 す感河年でのの平たで区橋七、一児山 1 ○謝川度いー清成 ○ゴ間か十山年 状愛、ま環掃十 ミ河ら八前十 拾川稲名南月 を護当すと活年 贈団事。し動よ い敷荷

。イを徒ての主**ル**もジれたヶ四立成

`会栃

宮の験県

ととプで社

◦てり二に体木

毎自更み学で

年然生や習推

、環保河〜進

生境護川のし

徒豊女愛一て

のか性護環い

入鬼なラしマ

れ怒どンてイ

を川のテ行チ

を団イわヤ

。原名久二

地が下

に怒学十

河川校

看地学.

板公校木

設へ生に

し岡総真

やの

置真徒、

を園の一ポル

でニ

○鬼中年協Ⅲ手▮

化敷沼二柱7枚 の緑中日がピで

ン出らい場体丨のへは

の岡 「宗子小や 貝ま 川ざ でき 掃南 活小 動学

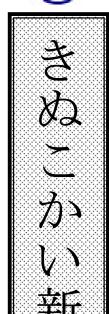
まが水 三下黒付巡 質川の川 せあ施そ箇流子近視下事事油の平 んり設の所**へ堰、**を館故務が祝成 でま、結に油付四行河対所浮橋二 しす利果オが近十い川策はい付十 たが根、イ流 **六**、事を茨て近一 。、川小ルれにkm三務行城いと年 双下貝フな大祝箇所い県る大十

方流川ェい量橋所でま・と谷月 とに下ンよの付へはし筑の川二 もは流スう油近小、た西情の十 取飲にを、が、 貝小 。市報黒六 とが子日 水料は設小見大川貝 停水工置貝ら谷三川 連入堰へ 止の業し川れ川十・ に取用まのた**三km**大 て下にに は水水し下の.平谷 至施のた記で八和川 、館大小 水河量貝 り設取 ∘の 丶km橋の

携えた なだ水 達れりき しる際下影りすこのて、込河の学水 てたは館響とるの生、上ま川水物質 、め、河や、こた活生水れをが質事 対に事川損私とめに活道、流汚等故 、故事害達が、ひ用用農れ染がと に県の務をの出水ろ水に作てさ河は あや影所与生来質くと取物いれ川、 た、響でえ活な事利し水をるるに何 つ市やはまやく故用てさ育水こ流ら てな被、す河ながさ使れてはとれか いど害水。川つ起れ用、る、を込の まのを質 す関最事 ○係小故 機限が

のたきてさ浄の田いむ原 生りるいれ水にんい等因 、とまる場使ぼまにで 系魚、すなでわやすよ、 にが水。ど濾れ畑 ∘り油 関に発 丶類 とお生 大死を 、過たに 連さし きん取 私さ 引 河や





¥ 発 行

国土交通省 下館河川事務所 きぬ·こかい情報発信局

茨城県筑西市二木成1753 Tel 0296-25-2161 HPアドレス

http://www.ktr.mlit.go.jp /shimodate/







(藤代出張所) オイルフェンス設置作業状況

守谷市 1

常磐自動車道 つくばみらい市

常総市

下妻市祝橋 (国道125号) つくば市 小貝川

②小貝川21.0km川又橋

オイルフェンス設置作業状況

付近(水海道出張所)

〇 下館河川事務所 対策実施箇所

をイ設定上の

小貝川

③小貝川40.5km愛国

橋付近(黒子出張所)

オイルフェンス設置作業状況

大谷川

筑西市

防、水

除千系

研葉の

究市河

会、川

水元務

資の所

源松へ

機戸六

、地事

〇 茨城県筑西土木事務所 対策実施箇所

をオ流滑故

い確の怒方 なて勤 て認説川々当祭紫行平 のし明・が日"水緑成 呼まを小参はが口地二 びし聞貝加、開一公十の 掛たく川、あ催タ園一力 け。との「いさリ〜年 筑十二 くまク西ーし 、か 0 のしラ市月 ま場仙ら法雨たブ〜+

う

化用

にす

ーる

役人

買々

つの

て目

くに

しで在鮭人で。」に四さ 主お日 たは橋の未し 、よ航来た 催いへり て土 河り海にが 川鮭・つ、 鮭 ` 〜 お「五 かし行 化遡上ご百 に上範う名 えも川 つを囲鬼の りだの



会員のみなさん(鬼怒商業高 校の生徒さんと)



せのス参活ゴ河当い十鬼 て時モ加動ミ川団る八怒 く期スしに拾敷体ボ名川く れになーはいへはランを鬼 まはど緒地等筑 、のに域の西年テ ヽす ○河四種の活市間 川季を高動伊をア怒会を をのま校を佐と団川へ愛 訪花く・続山お体の会す れ々な中け地しで河長る 会 るをど学て先てす川 人育し校い〜 、。美中のり 化澤み 🕏 々ててのまで新 に清な 古 のて、生す花川 目いポ徒 取一古 ∘畑島 IJ. をまピや の橋 楽す|団 整下 組会 し。や体 備流 ん員

河を魚・ 川おが小 いい川 する ◦状の を丿 見じ つま

オイルフェンス設置 方法の説明

オイルフェンス設置訓練

採水•簡易水質分析訓練

川と下た東ま行ル置、を迅水が、務訓行故平 の経館 ◦技たいフと油目速質参 N 所練わ対成 水験河 ・まェ取の的化事加P〜にれ策ニ 質を川 事油しン水流と及故し〇、はま訓十 事生事 務濁たスロ下しび対ま法一、し練っ 故か務 所防 ○設へをて事策し人都利たが年 対し所 、故訓た油五根 及油ぐ実処練 ∘濁県川

策てで 油研 を、は びのた際理は 回究 行引 収会 採流めのの つきこ 車の て続の の方 いき訓 説か き鬼練 明ら ま怒で をの

水入の油円事 簡防イ出化発 易ぐル事等生 水たフ故の時 す川得 受講 質めェを技の 。・た け習 分のン想術対 小知 まと 析オス 向策

松十 戸一 市日 江へ 戸水

河に

川水

敷質

0